

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	横浜SSJ北部事業所
住 所	横浜市緑区十日市場町819-3第5高久ビル3階
電話番号	045-508-9693

事業所番号	1413300912
管理者名	河原雄一
対象年度	2023年

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：横浜市北部斎場 実施日程：年間321日 8：45～16：30 実施した生産活動・施設外就労の概要 斎場内の会葬者休憩室や湯茶提供における食器類の洗浄・お湯や茶器等準備。その他、ロビーやホール、駐車場などの清掃やその他斎場内での会葬者に関わる案内等 利用者数：32名</p>	<p><活動の様子></p> <p>火葬件数が増え、繁忙期期間が長くなり、また夏場は例年以上の暑さの中での活動でした。熱中症対策や利用者の疲労、感染症等にも留意し、業務の質を落とさないことを目標に日々の活動を実施。また、繁忙期が長いこともあり、閑散期に行っていた普段できない業務においても、少しの隙間の時間等を活用し、斎場内のあらゆる場所の清掃などを少しずつ行った。</p>
<p><目的></p> <p>障がい者の働く場として、地域の施設で活動し、一般就労への移行や賃金の引き上げを図る。また、地域施設での活動を通して、障がい者が普通に働けるということに対する普及啓発及び地域の方との障がい者の相互理解に繋げる。</p>	
<p><成果></p> <p>年間を通して、火葬件数の増加に伴い、多忙であったが、多くの当事者が活動することが出来た（延べ4018名）。その反面、多忙による体調不良になる当事者の方も多く、働く場の提供としては十分な成果があったが、十分なサポートが行き届かなかった面もあり、課題として残った。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

前年に引き続き、火葬中の湯茶等の提供及び使用後の片付け・清掃、場内の共用スペースの清掃等を担当し、また、売店の運営も円滑に行っていただいています。

施設の異常や問題点について常にリアルタイムで報告をしていただき、会葬者の安全かつ快適な施設利用に多大なる貢献をしています。令和5年度は利用者の過剰な要望などについて、本市事務室側の考え方にに基づき適切に運用を転換していただいた部分もあり、北部斎場を運営する上でとても頼もしいパートナーであると感じています。

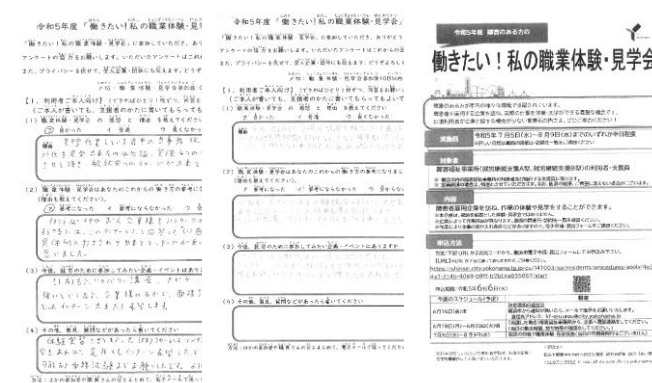
繁忙期の対応では業務量が増え、更にもその期間自体も長期に及び、大きく負担が増えてしまっているところがありますが、しっかりと業務を履行していただき助かっています。

連携先企業名	横浜市健康福祉局総務部環境施設課北部斎場	担当者名	野口 浩
--------	----------------------	------	------

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	横浜SSJ北部事業所	事業所番号	1413300912
住所	横浜市緑区十日市場町819-3第5高久ビル3階	管理者名	河原雄一
電話番号	045-508-9693	対象年度	2023年

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：フローレンスケア横浜森の台</p> <p>実施日時：2023年7月20日、8月3日</p> <p>実施の概要：障害者雇用している企業の見学体験</p> <p>利用者数：4名</p> <p>連携先：(株)工藤建設、横浜市</p>	<p><活動の様子></p>  <p><取り組みに関わる横浜市のHP></p> <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kenko/2023/default2023062.files/0006_20230703.pdf</p> <p><体験中の先方の担当者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いい動きしてますね。 ・ 細かいところもやっているのが良い。 ・ 覚えるの早い。
<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者雇用をしている企業の活動を見学・体験し、一般就労のイメージをつかむ。 ・ 見学・体験をすることで、一般就労へのモチベーションアップ 	
<p><成果></p> <p>・ 実際に障がい者雇用を行っている会社を見学・体験し、漠然としていた“一般就労”が多少イメージを持つことが出来た部分はあると思われる。また、先方の手法を学んだことで、新しい手法も学ぶことになり、幅が広がったのではないと思われる。このような機会が単発で終わるのではなく、様々な機会を設け、知識・能力の向上を図っていくことが今後の課題となる。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>横浜市の「働きたい！私の職業体験・見学会」に参加。このような場を単発に終わらせるのではなく、事業所として継続的に行き、利用者の一般就労への意欲の創出やイメージ作りを行うことが今後の課題である。</p>	
連携先企業（担当者）	

利用者からの意見・評価

<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の企業は準A型のような業態であり、このような就労もあるのかと関心を持った。 ・ 清掃にも色々なやり方があることを知ることが出来て勉強になった。 ・ 自分に合う仕事は何かと考えていたが、「やれること・出来ること」と「やりたい気持ち・やりたいこと」が大事と教わった。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	横浜SSJ北部事業所
住所	横浜市緑区十日市場町819-3第5高久ビル3階
電話番号	045-508-9693

事業所番号	1413300912
管理者名	河原雄一
対象年度	2023年度

(I) 労働時間		80	点
①1日の平均労働時間が7時間以上			
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満			
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動		60	点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上			
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上			
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上			
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満			
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満			

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(III) 多様な働き方（※）		15	点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度			
就業規則等で定めている			
②利用者を職員として登用する制度	○		
就業規則等で定めている			
③在宅勤務に係る労働条件及びサービス規律			
就業規則等で定めている			
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
⑤短時間勤務に係る労働条件	○		
就業規則等で定めている			
⑥時差出勤制度に係る労働条件	○		
就業規則等で定めている			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	○		
就業規則等で定めている			
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	○		
就業規則等で定めている			
小計（注1）	5		

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(IV) 支援力向上（※）		5	点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会			
参加した職員が1人以上参加している	○		
②研修、学会等又は学会誌等において発表			
1回以上の場合			
③視察・実習の実施又は受け入れ			
いずれか一方のみの取組を行っている			
④販路拡大の商談会等への参加			
1回以上の場合			
⑤職員の人事評価制度			
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○		
⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している	○		
⑦第三者評価			
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計（注2）	3		

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(V) 地域連携活動		10	点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○		

1事例以上ある場合：10点

(VI) 経営改善計画		0	点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○		

期限内に提出していない場合：-50点

(VII) 利用者の知識・能力向上		10	点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○		

1事例以上ある場合：10点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	180	点 / 200点
----	-----	----------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（2023年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	24,996	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,018	人	利用者の1日の平均労働時間数	6.2	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

(II) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（2021年度）

生産活動収入から経費を除いた額	34,385,856	円	利用者に支払った賃金総額	32,880,851	円	収支	1,505,005	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前々年度（2022年度）

生産活動収入から経費を除いた額	34,842,302	円	利用者に支払った賃金総額	31,935,691	円	収支	2,906,611	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（2023年度）

生産活動収入から経費を除いた額	35,936,353	円	利用者に支払った賃金総額	34,824,296	円	収支	1,112,057	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度（R5年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

(IV) 支援力向上

前年度（R5年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している
 ◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。
 ※研修名 虐待防止研修
 研修講師 長谷川 大輔
 実施日・受講者数 12月 19日 7人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している
 ※研修、学会等名
 実施日 月 日
 ※学会誌等名
 掲載日 月 日
 発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
 もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている
 ※先進的事業者名
 実施日/参加者数 月 日 人
 ※他の事業所名
 実施日/参加者数 月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。
 ※商談会等名
 主催者名
 日時 月 日
 内容

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している
 ◎当該人事評価制度を周知している
 人事評価制度の制定日 R5年 4月 1日
 人事評価制度の対象職員数 5名
 うち昇給・昇格を行った者 5名
 当該人事評価制度の周知方法
 人事評価説明資料にて理事長等が説明

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している
 ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している
 ※配置期間 4月1日～3月31日
 就業時間 8:45～16:30
 職務内容 利用者の相談、現場支援

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている
 ※評価を受けた日 月 日
 第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている
 ※認証を受けた日 月 日
 規格等の内容

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。
 ◎提出を求められていない。
 ※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。